

## 特別寄稿

### 公害の歴史後世に



特定非営利活動法人  
環境研究会かわさき

理事長 井上 俊明

川崎市は、1900年代初頭より臨海部の埋立と工場誘致、その後の高度経済成長期を経て全国有数の工業地帯として発展してきました。その一方で大気汚染等による多くの健康被害など深刻な公害問題を抱えることとなりました。

これに対し、市民、行政、企業は公害克服のため様々な努力を重ねてきました。公害の被害を受けた住民をはじめ多くの市民は、苦情や請願、訴訟などを提起し、行政は実態を把握するとともに条例などにより数多くの対策を立案・実施、企業は各種の規制に対応すべく対策技術を開発・導入、人材を育成するなど各主体が公害克服に向けた行動を進めてきました。

川崎にはこの甚大な公害の経験とその克服に向けた取組の歴史があります。

そこでかつて川崎市役所に従事し公害対策や環境保全に精通したOBが集まり、「川崎がこれまで経験した公害問題等を風化させてはならないこと、またその克服に向けた取組の歴史を後世に伝えていくこと」を目的に、2012年4月に「特定非営利活動法人環境研究会かわさき」を設立いたしました。

現在会員は、川崎市役所で環境行政に携わってきたOBや現役の職員、また神奈川県庁や横浜市役所のOBを含めて三十名程が集っています。

主な活動は、①公害問題に関するアーカイブズ（過去の記録）の調査・研究など、②環境教育・学習事業、③川崎の公害や環境の取組などについて国内外の人々へ情報発信等を行っています。

公害問題に関するアーカイブズの事業では、昨年9月に川崎の大気環境140年の歴史を



環境すごろく「エコライフゲーム」風景  
(地球にやさしいライフスタイルを親子で楽しく学ぶ)

時系列に網羅した冊子「川崎の環境今・昔」第1巻大気編を編纂いたしました。今後も、自動車対策編、水質環境編等の編纂を進める計画をしています。

環境教育・学習事業では、川崎市内で開催される各種イベントに環境すごろく「エコライフゲーム」や環境紙芝居などを出展し、親子で楽しく地球にやさしいライフスタイルを学んで頂いています。

情報発信事業では、本会の活動の様子や成果物をHP上に掲載するとともに、作成した冊子「川崎の環境今・昔」が市民の目に触れるよう、市内の学校や図書館に配布しています。また、市民、小学校の先生や市の若手職員などを対象にこれまで収集した資料等を基に、「川崎の環境今・昔」の出前講座などを行っています。

こうした活動を行っていくことで、市民・企業の人材育成やライフスタイルをはじめ、国内外の環境保全、さらにはよりよい未来の環境創造に向けた取組に大きく貢献できるものと考えています。

ホームページ：

<http://kankenka.pro.tok2.com/index.html>



幼稚園児や小学低学年対象に環境紙芝居 風景



小学校の先生達の研修会での出前講座「川崎の環境今・昔」



川崎の環境140年の歴史を綴る冊子「川崎の環境今・昔」第1巻大気編の発行